

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 27 年 6 月 10 日 No14

図書館を利用し 2 か月で 100 冊!



左の写真は先日（6月3日）校長室で行った表彰式の一コマです。図書委員長が4月からの2か月で読書量100冊を突破した人たちを表彰しました。約60日で100冊です。素晴らしい記録です。単純に計算しても1日に1冊以上読まないはこの記録は達成できません。（この冊数に漫画は含んでいません。）

「量より質が大事」という言葉があります。確かにこれも大事ですが、一方で「量のないところに質は生まれない」という言葉もあります。

読書に関しては多読はよりよい質を生むための大事な条件だと思っています。読書については、残念ながら先日（5月3日）75歳でこの世を去った詩人の長田弘氏がとても素敵な言葉を残しています。

「本を読むことが、読書なのではありません。自分の心のなかに失いたくない言葉の蓄え場所をつくりだすのが、読書です。」

言葉の蓄え場所をどれだけ作り出すことができるか。これが広ければ広いほど人間は豊かになっていくのではないのでしょうか。今梅雨ですね。どんよりとしたはっきりしない天気が続いていますが、「五月雨」「驟雨」「穀雨」「氷雨」などなど「雨」にもいろんな種類があります。日本語にはなんと

400以上の雨の種類があるそうです。



自分の気持ちを雨に投影する言葉もあるのではないのでしょうか。これまで見向きもしなかった道端に咲いていた雑草がその名前を知ったとたん、身近に感じることができるよう言葉を増やすということは、それだけ豊かな人生を送るための大切な道具になります。

今回表彰された人の中には「今年の目標は1000冊突破することです」と決意を述べた人もいます。これからも200冊、300冊と記録を伸ばしながら「言葉の蓄え場所」を広げていってほしいと願っています。また、学校全体で年間100冊を突破する人たちが数多く出てくることを楽しみにしています。



